

報道関係者 各位

愛知県名古屋市におけるオセルタミビル(商品名:タミフル)耐性を示す
遺伝子変異が検出された新型インフルエンザウイルスについて

愛知県名古屋市から、タミフル耐性を示すH275Yの遺伝子変異を持つ
新型インフルエンザウイルスの分離が確認されたとの報告がありましたので、
その概要について、別紙のとおり、情報提供します。

平成21年10月23日

市政記者クラブ 様

健康福祉局健康部健康増進課

(担当：渡邊、坂野)

電話：972-2636

972-2656

**抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」に耐性を示す遺伝子変異が検出された
新型インフルエンザウイルス（A/H1N1）の確認について**

名古屋市では新型インフルエンザが確認された患者の方のうち、死亡事例を含む重症な経過があった事例などにおいて、タミフル（抗インフルエンザウイルス薬オセルタミビル）に対する耐性を示す遺伝子があるかどうかの検査（いわゆる耐性検査）を実施しています。

今回、本市における新型インフルエンザ患者由来のウイルスにおいて、耐性を示す遺伝子が確認されましたので、その概要をお知らせします。

なお、厚生労働省によるとタミフルに対する耐性を持つ遺伝子変異はウイルスの病原性には直接影響を及ぼすものではないとされています。

1 検査結果（名古屋市衛生研究所において実施）

オセルタミビル（商品名：タミフル）耐性マーカーH275Yを検出

2 患者の概要

No.	1	2
性別・年代	女性・20歳代	女性・8歳
経過等	8月19日に確認された新型インフルエンザ患者（重症肺炎により死亡）が入院していた医療機関看護師。タミフルを予防内服するものの8月23日に発症。8月26日、PCR検査の結果、新型インフルエンザの感染を確認。リレンザを服用し、自宅療養で回復	8月16日に発症。翌日、市内医療機関を受診し、簡易検査によりA型陽性でタミフル服用。嘔吐・脱水がみられたため、8月20日に入院。8月21日、PCR検査の結果、新型インフルエンザの感染を確認。症状回復し、8月24日に退院

3 その他

- (1) No.1における死亡者のウイルスからタミフル耐性を示す遺伝子は検出されず、また、患者の周囲から、発症後症状の改善しなかったものは確認されず、感染拡大はみられておりません。
- (2) 感受性試験(インフルエンザウイルスに対して抗インフルエンザウイルス薬が効果があるかどうかの試験)を実施するために、この間、ウイルス培養を実施してきましたが、現在までに培養できなかったため実施いたしません。
- (3) 現在のところ、市衛生研究所において実施した遺伝子分析においては、上記の2件以外、タミフル耐性を示す遺伝子は確認されておりません。
- (4) 患者の個人情報には、特段のご配慮をお願いいたします。

本件は、平成21年10月8日付け厚生労働省新型インフルエンザ対策推進本部事務連絡「新型インフルエンザ(A/H1N1)に係る今後のサーベイランス体制について(改訂版)」に基づき、新型インフルエンザウイルスの遺伝子分析等により、抗原性の変化や薬剤耐性等を確認したことから、厚生労働省との連携のもと、公表を行うものです。